

公益信託うつくしま基金 第6回後期助成活動実績報告書（ホームページ公表用）

平成21年 5月11日

1 実績報告者

助成受給者 (団体)名	(フリガナ) ユメ いな夢クラブ
----------------	------------------------

2 活動名称

雪 中 ギ ャ ザ リ ン グ 2 0 0 9																				

3 助成コース・助成額・活動期間

助成コース名	スタートアップ支援コース（10万円以下）		助成額	事業費総額	
※助成を受けたコースに ○印を付け、助成額・事業 費総額（実績）を記入して 下さい	○	100年後も…いきいき ふくしま うつくしま（県民運動）実践コース	30万円	37万円	
		※県民運動実践コースの 場合は右記のどの重点 テーマに該当する活動 か、該当するものに○ をつけて下さい。			地域コミュニティの再生
		○			子育てしやすい環境づくり
					環境問題への対応
活動期間	平成20年11月 1日 ～ 平成21年 3月31日				

4 実施した活動の実績・成果

<p>(1) 実施した活動の内容</p> <p>3月27日（金）～3月30日（月）の3泊4日間、電気もガスも水道もない雪がまだ1.5m以上残る南会津町伊南地域の山小屋で、参加者16人（小学4年～中学1年）、講師・スタッフ12人で雪中キャンプをしました。夜から朝にかけて雪が降り、日中は太陽が出るという恵まれた天候のもと、大自然の中でいろいろな人たちと生活をともにしました。</p> <p>「自分のことは自分です」「人に迷惑をかけない」「自分たちで楽しむ」を基本とし、スキー、チューブ乗り、スノーシューツアー、雪合戦、キャンプファイヤー、ナイトハイキング、薪ストーブを使った食事作りなどを体験しました。</p>
<p>(2) 活動の成果</p> <p>電気もガスも水道もないとても不便な空間で、初めて会ういろいろな人たちと共に生活することで、様々なことを考え、教科書からは学ぶことのできない、人として「生きる力」「感動する心」「自然の素晴らしさ」などを実感できたのではないかと思います。</p> <p>最後のキャンプファイヤーで伊南出身の若いスタッフが、「日常の仕事で忙しい時も、この場所でのキャンプを思い出すと心が落ち着く。やっぱりここが私の原点です。将来は帰ってきて、もっとたくさん子どもたちとキャンプをしたいです」と話しました。この地域だからこそできるこの雪中ギャザリングをとおして、確実に郷土愛が醸成されていると思いました。</p>
<p>(3) 今後の課題</p> <p>限られた時間の中で、参加者にさらに多くのことを体験・学習してもらえるように、プログラムを充実させたいと思います。</p> <p>また、活動の幅をさらに広げるための備品（例えば双眼鏡や子ども用のテレマークスキーなど）や安全を確保するための装備（トランシーバーやヘルメットなど）を揃えていきたいと思っています。</p> <p>参加者の中から将来のスタッフを育成できるようなシステムを構築したり、上述の若いスタッフのようにこの地域に誇りと愛着を持てるような子どもを増やしていきたいです。</p> <p>助成金がなくても事業を今後も継続していくために、参加料だけで実施できるような収支を検討していきます。</p>

【 活動実績（写真） 】

助成受給者
(団体・グループ) 名

いな夢クラブ

